

# 東大和

平成23年(2011年)  
8月1日



# 市議会 だより

## 234

発行：東大和市議会  
編集：議会広報委員会  
〒207-8585 東大和市中心3-930  
TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926  
E-mail : gikai@city.higashiyamato.lg.jp

### もくじ

ページ	
2	6月議会の議題から topicsあれこれ
3	市長所信表明に対する代表質問
4	市政を聞く① 【蜂須賀・根岸・床鍋】
5	市政を聞く② 【押本・実川・御殿谷・中野・佐竹・東口】
6	市政を聞く③ 【大后・中間・二宮・西川・尾崎(利)・和地】
7	市政を聞く④ 【森田(真)・関野・中村】 委員会での議論
8	議案等の結果・閉会中に行われた会議 ほか

### 6月議会の日程

14日	開会・市長所信表明・議員提出議案審議・議案審議等、請願・陳情の付託など 議会のあり方に関する調査特別委員会
16日	議会運営委員会 所信表明に対する代表質問
17日	一般質問、議会運営委員会
20日	一般質問
21日	一般質問
22日	一般質問、議会運営委員会
23日	一般質問
24日	総務委員会 議会のあり方に関する調査特別委員会
27日	厚生文教委員会
28日	建設環境委員会
30日	農業委員会委員の推薦・追加議案審議・常任委員会審査報告・議員提出議案審議・継続審査議決・議員派遣議決など、閉会

### 今号の主な内容

3 ページ  
尾崎新市長所信表明に対し  
各会派等が代表質問

2 ページ  
議会のあり方に関する  
調査特別委員会を設置

2 ページ  
災害対策及び休日保育事業の実施等を  
盛り込んだ一般会計補正予算(第3・4号)を可決

2 ページ  
地方消費者行政に対する国の  
実効的支援を求める意見書を可決

2 ページ  
米国の核兵器維持の新実験に  
抗議する決議を可決

7 ページ  
ちょこバス路線復活に関する陳情を  
趣旨採択

2 ページ  
市長の給与の特例に関する条例を可決

4・5・6・7 ページ  
新人議員を含む18名が市政全般  
について聞く(一般質問)



## 街の ひとコマ

「はたらく消防  
の写生会」

撮影：竹村康彦さん  
(東京消防庁北多摩  
西部消防署勤務)

この欄に掲載する写真  
を募集しています。

応募のお問い合わせは  
議会事務局へ。

# HOT NEWS

## 6月議会の議題から

- 議案の結果については最終面の議案等の結果もご参照ください。
- 文中の条例・陳情などの名称は一部省略しています。

### 市長の給与の特例に関する条例を可決

市長の給与を大幅に削減し、市長みずから先頭に立つことにより、財政健全化に力ける強い意志をあらわすとともに、その実現のための出発点とするものです。

内容は、平成23年7月1日から、市長の給与を現在の月額89万5千円から半額の44万7千500円に減額するもので、期末手当についても同様に、現在の半額に減額するものです。

なお、この条例の効力は、現市長の任期が終了する平成27年4月30日までです。

### 議会のあり方に関する調査特別委員会の設置を可決

今日における、市民からの要望にこたえるため、より市民に開かれた議会・より分かりやすい議会を目指して、地方自治法第110条及び東大和市議会委員会条例第6条の規定に基づき、次のおり特別委員会を設置されました。

名称は、「議会のあり方に関する調査特別委員会」で、委員定数は8名、調査事項は2つで、「市民に開かれた議会のあり方についての調査検討」と「(仮称)東大和市議会基本条例の調査検討」です。また調査期限は、調査が終了するまでです。

委員長には中間建一委員が、副委員長には森田憲二委員が、またその他の委員には、尾崎利一委員、関野杜成委員、和地仁美委員、根岸聡彦委員、御殿谷一彦委員、床鍋義博委員が選任されました。

### 固定資産評価審査委員会委員に原正男氏の再任を同意

本年7月22日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員には、原正男氏(はら まさお)は、原正男氏(はら まさお)は、六十四歳(清水在住)の再任に全

会一致で同意しました。氏の幅広い知識と見識、一三年間の実績が評価され、任期は本年7月23日から26年7月22日までの三年間です。

### 災害対策及び休日保育事業の実施等を盛り込んだ一般会計補正予算(第3・4号)を可決

歳入の主な内容は、国庫支出金が627万円増額で、疾病予防対策事業費等補助金増額。都支出金が90万円増額で、高齢者を熱中症から守る緊急対策事業補助金等。繰入金金が2438万5千円増額で、今補正の財源調整のため財政調整基金の取り崩しを増額など。

歳入の主な内容は、国際交流事業費が88万9千円増額で、多言語版防災リーフレットの作成委託等。高齢者日常生活支援事業費が70万円増額で、休日保育事業補助金として70万6千円。

円増額で熱中症から高齢者を守る予防啓発グッズ等配布。狭山保育園運営費が57万2千円で園舎耐震診断調査委託料。成人保健事業費が1254万1千円でがん検診に大腸がん検診を追加。木造住宅耐震助成事業が150万円の増額で耐震診断助成金増額。災害対策事業費が97万1千円の増額で災害対策用無線機購入等。

夏期電力需給対策に伴う休日保育事業補助金として70万6千円。

### 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書を可決

本意見書を全会一致で可決し、7月1日に衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣ほかへ送付しました。

(意見書要旨) 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求めるため、衆参両議院議長、内閣総理大臣ほか以下の内容の意見書を提出します。

- ①国は地方消費者行政充実のために継続的かつ実効的な財政支援を提出します。
- ②国は地方自治体にとって取り組むべきかたちとして、具体的な示すこと。
- ③国は消費生活相談員の専門性向上と地位の安定、待遇改善に向けた制度の整備を行うこと。

### 米国の核兵器維持の新実験に抗議する決議を可決

本決議を全会一致で可決し、7月1日に駐日米国大使へ送付しました。

(決議要旨) 5月21日米工団ネルギー省(核安全保障局)は、昨年11月と今年3月の2回にわたって、新たな形態での核実験を強行していたことが明らかになった。

昨年5月、NPT再検討会議で合意された「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」という目標にも、「核なき世界を追求する」との平成21年4月、プラハでのオバマ大統領の公約にも逆行することは明らかである。

東大和市議会は、爆発・非爆発を問わず、米政府がいつさいの核実験、核開発計画を放棄し、包括的核実験禁止条約の批准を進め、核兵器全面禁止条約の実現のために、ただちに行動を起こすよう強く求めるとともに、世界の恒久平和を願い、非核平和都市宣言をする自治体の市民を代表して、今回の実験に対し強く抗議し、再び実験を行うことのないよう強く求めるものである。

# topics

## あれこれ

### 農業委員 四名を推薦

農業委員会委員の任期満了に伴い、新たに市議会から次の四名を推薦しました。

任期は平成23年7月20日から平成26年7月19日までです。

西川 洋一 和地 仁美  
根岸 聡彦 蜂須賀千雅

### 三水協総会に出席しました

三多摩地区の上下水道及び道路建設促進を図ることを目的に三多摩上下水道及び道路建設促進協議会の第49回総会が5月30日、府中市の東京自治会館で開催されました。本協議会は、三多摩地区関係議会の代表者で組織されており、当市議会からは4名の委員が選出されています。

総会では、22年度歳入歳出決算の認定、23年度歳入歳出予算案、総会決議案等の議案を審議し原案どおり可決されました。

理事 尾崎 信夫議長  
第1委員会委員(上水道) 佐竹 康彦議員  
第2委員会委員(下水道) 森田 真一議員  
第3委員会委員(道路) 根岸 聡彦議員



三水協総会

### 普通救命講習会を開催しました

心臓マヒを起こした方に早期対応することで命を救うことが可能なAED(自動体外式除細動器)が市内の各公共施設に設置されていることから市議会でも操作方法を習得するため、講習会を6月28日午後、全員協議会室で開催しました。講師に公益財団法人東京防災救急協会の応急手当教育指導員を迎え、新たに議員になられた8名が真剣な眼差しで受講し、「救命技能認定証」を取得しました。



普通救命講習会

### 全国市議会議長会から粕谷前議長が表彰されました

全国市議会議長会定期総会が6月15日に開催され、多年にわたる地方自治への貢献により、粕谷洋右前市議会議長が議員在職二十年以上として表彰されました。

### おこわり

「請願陳情の要旨」は、紙面の都合により掲載することができませんでしたが、内容は会議録等を参照ください。

# 市長の所信表明に対する

# 代表質問

## 各会派代表等6名



市長の所信表明を行う尾崎市長

6月議会初日に行われた市長の所信表明に対し、議会各会派等が行った代表質問の要旨を掲載します。  
なお、市長所信表明は市報(7月1日号)をご覧ください。

### 市長の市政運営の基本姿勢及び「夢のあるまちづくり」について伺う

自由民主党  
中村庄一郎

**問** 行政運営を「持続性のある行政運営への転換」と言うが、どう転換していくのか。

**答** 単年度の収支や財政指標等による判断だけでなく、将来的な負担や積立金の状況を把握し、財政の長期的な安定性を保持する。

**問** 市民と行政が協働する事業とはどのようなものか。

**答** 市民と市が協働している事業はいろいろある。将来的には重要施策の構想、検討段階からワークショップ方式等の方法で施策をつくり上げていきたい。

**問** 効率性と選択による市政について、効率性を重視し、「あれかこれか」という選択をし、サービ

**問** スの低下につながることはないか。

**答** 限られた財源の中であらゆる事業を実施することは困難。市民サービスを十分に考慮し、サービスの低下にならないよう努めたい。

**問** 震災対策について、どのようなスケジュールで進めるのか。

**答** 東大和市地域防災計画の徹底見直しを行う。今年度中を目途に市民の声を十分反映し考えたい。

**問** 「農地を確保するために基金の創設を検討する」とあるが、基金をどのように積み立てるのか。

**答** 基金の創設は市民からの寄附等が考えられる。ふるさと納税が基金へ積み立て可能か検討したい。

**問** 総合福祉センター建設をどの

ように考えているのか。

**答** 障害者の就労支援事業、包括支援センターの増設は今年度から実施する予定。財政状況等も勘案しつつ改めて検討していきたい。

**問** 副市長・教育長不在の状況はどう考えているのか。

**答** 大変重要な役割を果たす存在職にふさわしい方を誠意検討する。

**問** 地方交付税や国の地方財政対策に依存せず財政運営を行うことができるのか。

**答** 市民に御理解いただき歳入の確保、歳出の削減、見直しを行う。

### 市民に希望と展望を与えるリーダーシップの発揮を要望する

公明党  
中間 建二

**問** 市長の市政刷新の断固たる決意と具体的な施策は市民に伝わっているのか。市民への情報発信は。

**答** タウンミーティングを開催し、考えなどを述べて具体的な施策を展開していきたい。

**問** リサイクルセンター構想について、どのように決着を図るのか。

**答** 施設建設が本当に必要なかどうかの考えをまとめた上で、2市及び衛生組合と話し合いたい。

**問** 地域防災計画の見直し方針と市民の生命・安全を守る決意は。

**答** 災害予防、災害応急対策並びに災害復興計画すべてにわたりに見直しを行う。関係機関や市民との対話と協議を通じ、わかりやすい地域防災計画を策定する。

**問** 市長公用車を廃止しその財源

**問** 市長の市政刷新の断固たる決意と具体的な施策は市民に伝わっているのか。市民への情報発信は。

**答** タウンミーティングを開催し、考えなどを述べて具体的な施策を展開していきたい。

**問** リサイクルセンター構想について、どのように決着を図るのか。

**答** 施設建設が本当に必要なかどうかの考えをまとめた上で、2市及び衛生組合と話し合いたい。

**問** 地域防災計画の見直し方針と市民の生命・安全を守る決意は。

**答** 災害予防、災害応急対策並びに災害復興計画すべてにわたりに見直しを行う。関係機関や市民との対話と協議を通じ、わかりやすい地域防災計画を策定する。

**問** 市長公用車を廃止しその財源

### 市民と行政が協働して市政運営を行う体制について伺う

民主党  
大后 治雄

**問** 市民参加型の市政運営の具体策、六つの柱の施策に優先順位はあるか。

**答** 行政の力だけによるまちづくりは困難な時代だ。市民、NPO、事業者等の力をいただき、市民との協働に重心を置いた市政運営を行いたい。六つの柱の施策に優先順位はなく、市民福祉の向上を異なる視点から目指したいという施策である。

**問** 福祉の行き渡ったまちづくりの中で、社会福祉協議会、NPO法人、ボランティアが一体となっ

**問** 市民参加型の市政運営の具体策、六つの柱の施策に優先順位はあるか。

**答** 急速な少子高齢化と社会環境の変化に対応した福祉の実現を図るため、NPO法人等、地域ボランティアなど、地域の様々な機関や団体との連携を図り、地域福祉の基盤を推進し、つながり合いのある地域づくりを目指したい。

**問** 市政の現状を健全でないとするその根拠は。

**答** 歳入では根幹となる市税収入の割合が少なく、地方交付税などの財源に依存し、歳出では義務的

経費である扶助費の支出が多く財政の硬直化を招いている。

### 市民が主役の市政を実現するための市長の見解を伺う

日本共産党  
西川 洋一

**問** 市長は、市民とともに歩む市政運営に努めると表明した。それは、市の意思決定前の情報を市民に知らせることにはできない。

**答** パブリックコメントやタウンミーティング等により情報の共有化を図り、市民の皆様とともに市民協働の制度づくりを目指したい。

**問** 地方交付税等に依存することなく財政運営をするというが、市政は国の地方財政計画に大きく影響を受ける。市民の命と暮らしを守り、福祉の向上を図るために、国や東京都に十分な財政措置を求めることこそ必要だ。

**問** 市長は、市民とともに歩む市政運営に努めると表明した。それは、市の意思決定前の情報を市民に知らせることにはできない。

**答** パブリックコメントやタウンミーティング等により情報の共有化を図り、市民の皆様とともに市民協働の制度づくりを目指したい。

**問** 地方交付税等に依存することなく財政運営をするというが、市政は国の地方財政計画に大きく影響を受ける。市民の命と暮らしを守り、福祉の向上を図るために、国や東京都に十分な財政措置を求めることこそ必要だ。

### 農地の保全、障害者対策について伺う

やまとみどり  
中野 志乃夫

**問** 農地の保全と後継者対策を重視しているにも関わらず、6月1日から実施された粗大ごみの排出方法の変更で、農家も事業者として認定され指定の収集袋を買わなくてはならず、怒りの声が出ている。至急対策を打ってほしい。

**答** 市内全域へお知らせの個別配布を行う等、周知に努めた。農地から生ずる廃棄物の多くは農地内において自己処理するなど、ごみ減量にご協力いただいているものも

**問** 農地の保全と後継者対策を重視しているにも関わらず、6月1日から実施された粗大ごみの排出方法の変更で、農家も事業者として認定され指定の収集袋を買わなくてはならず、怒りの声が出ている。至急対策を打ってほしい。

**答** 市内全域へお知らせの個別配布を行う等、周知に努めた。農地から生ずる廃棄物の多くは農地内において自己処理するなど、ごみ減量にご協力いただいているものも

### 「住みよき、活気のあるまちづくり」について具体策を聞く

無所属  
実川 圭子

**問** 「居住環境に配慮した市街地整備」とは、どのようなことか。

**答** 街づくり条例に基づく協議や地区計画の運用により、良好な環境が確保された整備となるよう、市民、事業者が協力を求め、進めていきたい。

**問** 環境問題は、短期的な効率性にとらわれない施策を望む。

**答** 子どもにとって一番いいことは何かということの観点から、支援していきたい。

**問** 「住みよき、活気のあるまちづくり」について具体策を聞く

**答** 市民一人一人と行政の間に適正なつながりを持ち、豊かな環境を次世代へ引き継ぐ必要がある。

**問** 子どもたちの人間形成に大事な時期の支援は、子どもの視点で進めてほしい。

**答** 子どもにとって一番いいことは何かということの観点から、支援していきたい。

# 市政を

## 6月議会 一般質問要旨

掲載は  
発言順

# 聞く



市内農産物

**問** 福島原発事故が起き、知識と情報の差があり、子育てをする親御さんは不安をいだいている。大気中の放射線量、土壌及びブルー水の放射能測定速やかな公表をお願いする。

**答** 小中学校等の施設において、大気中の測定は測定器を購入し直営で実施する。土壌及びブルー水の調査は専門機関に委託する準備

子ども関連施設の放射能測定、学校給食食材の産地公表と、市内交通基盤整備の充実について

蜂須賀 千雅  
(自由民主党)

**問** 福島原発事故が起き、知識と情報の差があり、子育てをする親御さんは不安をいだいている。大気中の放射線量、土壌及びブルー水の放射能測定速やかな公表をお願いする。

**答** 小中学校等の施設において、大気中の測定は測定器を購入し直営で実施する。土壌及びブルー水の調査は専門機関に委託する準備

**問** コミュニティバスについて、当市の実情に応じた適切な運行となるよう、地域公共交通会議の設置について考えを伺う。

**答** 市の実情を踏まえ、市域全体をとり、コミュニティバス事業の目的である公共交通空白地域の解消と利便性の向上を図るための検討を進めたい。



里正日誌

**問** 東大和市の歴史的文献について、市としてどのように把握しているのか伺う。

**答** 行政が刊行したもの、民間が作ったものが多数ある。すべてを収集することは難しい状況にあるが、郷土博物館ではそれぞれをリスタ化し把握に努めている。

**問** 里正日誌の位置づけについて伺う。

全国に誇れる東大和市の文化的財産、里正日誌の早期完成を

根岸 聡彦  
(自由民主党)

**問** 東大和市の歴史的文献について、市としてどのように把握しているのか伺う。

**答** 行政が刊行したもの、民間が作ったものが多数ある。すべてを収集することは難しい状況にあるが、郷土博物館ではそれぞれをリスタ化し把握に努めている。

**問** 里正日誌の位置づけについて伺う。

**答** 現在12巻のうち3巻を刊行、解説作業は平成11年以降中断している。今後は作業体制を整備し、財政状況等を勘案しながら刊行に向け努力する。

**要望** 里正日誌を学ぶことは、300年の地域の歴史とその歩みを知るだけでなく、時代の背景にあるあらゆるものを洞察して次代に引き継ぐことであり、早期の完成を望む。



暫定リサイクル施設

**問** 3市共同資源化施設建設について、前議員のポスター費に関する訴訟について伺う。

**答** 私のほうで直接行き、その経過等をまず確認し、その結果として自分の考えを、本当に必要なかどうかを含めて、もう一度はつきりと思いたい。

**問** 前議員に対する選挙ポスター費用の訴訟について、違法性を問うのが刑事裁判で、民事訴訟というのは損害賠償の問題だと思ふ。私は刑事訴訟で不起訴となった案件を、この議会で議論を延々と続けることに関して不毛だと思つている。一刻も早く先方が支払うという税金を収納して、この闘いに終止符を打っていただきたい。市長はどのように考えるか。

**答** なるべく早急に私としては結論を出して、どういう方向になるかわからないが結論を出して、市としても損害がないような、そういうふうな形のもので収めていければと思つている。

3市共同資源化施設建設について、前議員のポスター費に関する訴訟について

床鍋 義博  
(やまともどり)

## 各議員が取り上げたテーマ

### 自 蜂須賀 千雅

尾崎新市長の個別の施策の考え、今後の諸課題と対応

### 民 大后 治雄

市財政運営・市内の施設について

### 自 根岸 聡彦

人権・コミュニティバス・子どもの教育・歴史的文献・狭山緑地

### 公 中間 建二

行政改革の成果・情報公開・災害時情報提供・災害時要援護者対策

### や 床鍋 義博

一般廃棄物処理・3市共同資源物処理・前議員の民事訴訟他

### 民 二宮 由子

節電対策・選挙について

### 自 押本 修

雨水対策・学校教育・交番・農政について

### 共 西川 洋一

安心安全まちづくり・産業で活気ある町・公共交通の改善、充実

### 無 実川 圭子

市民と行政が協働するまちづくり・学校教育・防災について

### 共 尾崎 利一

原発事故・待機児解消・高齢者・3市共同リサイクル施設・通学路

### 公 御殿谷 一彦

事業継続計画策定・災害時の市民サポート体制について

### 民 和地 仁美

市職員の市民対応・ふるさと納税について

### や 中野 志乃夫

市長の公約・震災対策について

### 共 森田 真一

東日本大震災の支援と市民生活への影響・今夏の猛暑対策について

### 公 佐竹 康彦

雨水対策・図書館・小学校の英語教育について

### 無 関野 杜成

市長について・コミュニティ・選挙・河川・入札・公金納付他

### 公 東口 正美

緊急災害時の児童、生徒の下校・保育園待機児0・介護支援制度

### 自 中村 庄一郎

消防団の待遇・消防団詰所の耐震化・多摩国体・危機管理体制他

- 会派略称
- 自 → 自由民主党
  - 公 → 公明党
  - 共 → 日本共産党
  - 民 → 民主党
  - や → やまともどり
  - 無 → 無所属



南街地区における雨水対策と  
市内で生産された茶葉の安全性について

押本 本 修  
(自由民主党)



末広公園

**問** 雨水対策で最も効果のある対策は雨水浸透井の埋設と考える。今年度の埋設計画はあるのか。  
**答** 末広公園内に貯水量39トン、時間あたりの浸透量5トン容量の一基を、6月14日から9月13日の工期にて埋設予定である。  
**問** 雨水浸透井は一基あたり1千万円強と、市には負担が大きいが、24年度以降も計画はあるのか。

**答** 年度ごとに一基ずつを南街地域あるいは向原地域へ埋設していく考えを持っており、それに付随する設計等も考えていきたい。  
**問** 東大和市内産茶葉の安全性は、5月に2回、東京狭山茶の放射性物質検査を東京都が実施し、いずれも暫定規制値を下回っていた。当市では荒茶の抽出液と煎茶を検査した。6月20日と21日には3回目の検査が予定されている。  
**問** 市としての安全性アピールは、検査結果は東京都がプレス発表する。当市としてはホームページにすぐにアップしたいと思う。  
**要望** 東京狭山茶は当市を代表する農産物である。風評被害から守っていくという行政の姿勢を全面的に出していただきたい。

市民と行政が協働するまちづくりの推進と  
学校教育・防災について伺う

実川 圭子  
(無所属)



第二給食センター

**問** 市民と行政の協働をどのように進めるか。  
**答** 行政の情報を積極的に開示し、共有化を図りながら、市民の皆様のご意見をいただき検討したい。  
**問** 協働するまちづくりを進めるための体制づくりについて伺う。  
**答** 徹底的に行政情報を開示し市民意見を伺う場をつくりたい。協働を担当する組織や活動拠点など

について検討していきたい。  
**問** 学校冷房設備について太陽光発電と合わせて設置できないか。  
**答** 太陽光発電を導入できるか検討しているが、経費が多額になるため有効な補助金を探している。  
**問** 給食センターの早期建て替えを望むが現状は。  
**答** 用地の関係で滞っているが、なるべく早くつくってきたい。  
**提案** 一カ所に建てられる広さの場所が確保できないようなら、中学校区に一つ作る親子方式なども検討してほしい。  
**問** 地震時に防災無線による安全確認の呼びかけは可能か。  
**答** 4月から全国瞬時警報システムが稼動し、震度5弱以上の地震発生時に放送が流れる。

災害対策のため、業務継続計画策定、  
被災者支援システムの導入を

御殿谷 一彦  
(公明党)



東大和市地域防災計画

**問** 東日本大震災を機に、BCP(業務継続計画)が注目されている。計画項目の内、災害時に職員が実施すべき職務の把握、上位責任者不在時の権限移譲、事務遂行の代替場所、IT業務の継続対策、災害時の部署間援助体制について問う。最悪の事態を想定した業務(事業)継続計画の策定を求める。  
**答** 防災計画は災害が発生した時

に、復旧・復興をどうしていくかの計画である。業務継続計画は災害時でも止めることのできない業務の優先順位・資源配置の計画である。市役所業務は、災害を免れた施設で分散して対応する。ITの基幹システムは昨年末に外部データセンターの運用を開始し対応を強化した。地域防災計画の見直しと合わせて、災害時でも行政サービスが継続できるように事業継続計画の策定を検討する。  
**問** 災害場所となった場合に、罹災証明の発行、緊急物資管理、仮設住宅管理、避難所関連システム等に使える被災者支援システムの導入を求める。  
**答** 費用負担の少なく、当市導入に適したものを研究し進めていく。

市内循環バスの利便性の向上と  
総合福祉センターのあり方について伺う

中野 志乃夫  
(やまとみどり)



ちょこバスとMMシャトル

**問** 市内循環バスの利便性の向上で、武蔵村山市と連携して運行するといった考えはなかったのか。  
**答** 地域公共交通会議の中で審議した結果、現行の運行体制となった。武蔵村山市のMMシャトルの市内乗り入れも視野に入れ検討したが、武蔵村山市のルート変更の見直しの際、市内乗り入れはないとした経過がある。

**要望** 市内循環バスは根幹の駅に接続されておらず不満がある。MMシャトルは駅に直結されている。武蔵村山市と東大和市は別個という考え方でなく、相互乗り入れで利便性があるなら考えようという姿勢で検討を行っていただきたい。  
**問** 総合福祉センターの建設は、最も遅れている障害者の課題を優先させ、老朽化したやまとあけぼの学園の建て替えも含め検討すべきではないか。また、中断している検討委員会も再開すべきでは。  
**答** やまとあけぼの学園は施設の改修等に取り組んでいくことを検討している。総合福祉センターは障害者施策が遅れていることを認識し、検討委員会を再開して再度検討する必要があると考える。

今後の水防対策と雨水浸透施設設置への  
補助金制度及び図書館運営と英語教育について

佐竹 康彦  
(公明党)



市立中央図書館

**問** 水防対策の現状と今後を伺う。  
**答** 注意報の際、道路排水や河川状況の早期警戒を心がけ、道路冠水時には消防署・市消防団と連携した活動を展開する。道路冠水想定場所で一時的に通行止めや迂回措置を講じている。溢水対策として雨水浸透井・L形浸透ます等の新設、集水ますや排水管等の清掃を行っており今後も継続していく。

**問** 雨水貯留槽・浸透ますの補助金制度を設ける意思があるか伺う。  
**答** 本年3月策定の下水道総合計画に制度創設を検討すると位置づけた。早い対応をしたい。  
**問** 図書館運営ビジョンを伺う。  
**答** 住民ニーズを把握し実情に即した運営を展開している。今後も市民が満足できる運営を行いたい。運営ビジョンの重要な柱として子ども読書活動推進計画の策定を進めている。  
**問** 英語教育と環境整備を伺う。  
**答** コミュニケーション能力養成を基本とし、様々な成果が出ている。ICT機器やALTの活用も推進。英語活動用教室設置も学校と連携し、環境の大事さを訴え検討していきたい。

介護支援ボランティア制度について

東口 正美  
(公明党)



介護ボランティア

**問** 公明党が強く推進してきた介護支援ボランティア制度が本年10月から市でも施行される。どのような形で行うのか。  
**答** 対象者は65歳以上の高齢者で市内在住の方。活動内容は、まず介護保険関係の入所施設や通所施設での施設活動型をしていく。放課後子ども教室などで行う異世代交流型も打診をしている。7月あ

りに受け入れ施設の募集。9月に市報・ホームページでお知らせする。ポイントについては、1時間間の活動に対して1ポイント、一日2ポイントまでとする。1ポイントにつき百円相当で年間五千円程度まで。換金については、現金商工会などで発行される商品券など、検討中である。  
**問** 現在行われているボランティア制度との兼ね合いは。  
**答** ボランティア事業と今回の介護支援ボランティア事業は、人件費の部分も社協のほうに委託の中で含んでおり、切り分けができる。極力ボランティアの名前を使わない方向性が見出されているが、名称は決まっていない。きっちりとした切り分けが必要と考える。

市財政運営について前市政との違いは何か  
郷土博物館と(仮称)東大和郷土美術館について

大后 治雄  
(民主党)



市立郷土博物館

**問** 市財政運営について、何をどのように変えていくのか。  
**答** 市民に市財政の現状を御理解いただく、「あれもこれも」から「あれかこれか」の政策判断に変更し、限られた財源を有効活用していく。また市民のだれもがわかる財政状況の公表として、簡易な表現のわかりやすい伝達方法の検討を行う。

**問** 前市政とのスタンスの違いは。  
**答** 情報公開の徹底と市民との協働で、私のやりたいところである。財政運営条例等政策に責任の所在を明確化する手法の考えは。  
**問** 自治基本条例の中で対応できるかなという思いもあり、財政運営条例の制定の考えは今はない。  
**答** 博物館の美術館的使用は、不可能ではないが作品展示の点で温度、湿度の整備が必要。  
**問** 美術館での特別公開の絵画等を博物館で常設展示できないか。  
**答** 常設展示には至っていないが企画展示を行ってきた事実はある。  
**問** 博物館に美術館を併設した場合、お土産物を売れるか。  
**答** 書物も売っており可能と思う。  
**要望** 産業振興の観点から税収アップ等の取り組みを求める。

行政改革の一層の推進と音声自動応答サービスの導入を求める

中間 建二  
(公明党)



防炎行政無線

**問** 当局における行政改革の成果と改善策についての認識は。  
**答** これまでも職員数の削減や指定管理者制度の導入、事務管理経費の削減など、第3次行政改革大綱に基づき取り組みを行ってきた。現在、第4次行政改革大綱の策定に向けた準備を進めている。

**問** 指定管理者制度のさらなる積極的な活用についての方針は。  
**答** 情報公開の徹底と市民との協働で、私のやりたいところである。財政運営条例等政策に責任の所在を明確化する手法の考えは。  
**問** 自治基本条例の中で対応できるかなという思いもあり、財政運営条例の制定の考えは今はない。  
**答** 博物館の美術館的使用は、不可能ではないが作品展示の点で温度、湿度の整備が必要。  
**問** 美術館での特別公開の絵画等を博物館で常設展示できないか。  
**答** 常設展示には至っていないが企画展示を行ってきた事実はある。  
**問** 博物館に美術館を併設した場合、お土産物を売れるか。  
**答** 書物も売っており可能と思う。  
**要望** 産業振興の観点から税収アップ等の取り組みを求める。

夏の節電対策、選挙について聞く

二宮 由子  
(民主党)



グリーンカーテン

**問** 夏季の電力需給対策として、具体的な節電対策の取り組みは。  
**答** 節電計画を作成し庁舎や各公共施設とともに照明、空調を中心に消費電力を15%削減する。その他、パソコン等の待機電力の抑制やノー残業デーの増加、グリーンカーテンの設置等対策を進めていく。

**問** 節電対策に積極的に取り組むスーパークールビズの導入は。  
**答** 今夏の対応は無理だと思われ、来年に向けて提案は可能である。  
**問** 期日前投票のニーズが高まっている。今後の取り組みは。  
**答** 期日前を意識した啓発、将来的に増設を考える時期にきている。  
**問** 期日前投票所のニーズが多い地域や、投票当日混雑している投票所の混雑緩和のためにも、設置個所として検討できないか。  
**答** 今後の期日前投票のあり方について検討し考えをまとめる。

市内公共交通の改善・充実に向け  
早急に対策を進めよ

西川 洋一  
(日本共産党)



ちょこバス

**問** ちょこバスの運行改善で「市内循環バスの利便性の向上を目指す」と述べている。改善のための検討を直ちに始めるべきだ。  
**答** コミュニティバス運行事業は公共交通空白地域の解消を図ることを目的とし、当局の実情に応じた適切な運行となるよう検討する必要があると考えている。検討には交通事業者、住民、利用者の代

表、道路管理者等で構成する地域公共交通会議で協議する必要がある。会議の設置に向け準備を進めたい。  
**問** 高齢者の外出の手段、拡大した公共交通空白地域の問題など、早急に地域公共交通会議を再開しなければならぬと思うが。  
**答** これから準備を進めていくこととなるが、スケジュールは現時点で詳細は決まっていない。  
**問** 3カ年の実施計画の中で25年度にバスの買いかえの予算が計上されている。ガス車から環境に適合したディーゼル車にすることでバスをふやせるのではないか。  
**答** 現状の事業運営について費用対効果等分析を行い、将来展望を踏まえて進めていきたい。

放射線測定器の拡充を。保育園の待機児解消を。  
高齢者見守りへ市は役割果たせ。

尾崎 利一  
(日本共産党)



放射線測定器

**問** 市が市内の放射線量を測定し公表する。とりわけ学校や幼稚園、保育園、公園について実施する必要があるが、どうか。  
**答** 空間放射線量はすべての学校、幼稚園、保育園も含めてやりたい。  
**要望** プール水についても全15校で測定すべきだ。原発からの撤退を市長は求めるべきだ。

**問** 市の保育計画では待機児はな  
**答** 子どもを安全に預かる保育行政は質がおろそかになってはいけない。現段階では国よりも手厚い旧都基準を維持したい。  
**問** 都のシルバー交番設置事業は24時間365日対応で、高齢者見守りネットワークの中核的役割を果たす。東大和市でも踏み出すべきだ。  
**答** 検討すべき事項だ。

職員研修は費用対効果を検証し  
信頼される職員育成に活かして

和地 仁美  
(民主党)



市内農地

**問** 市民対応のために新制度設立等の情報は、担当部署だけでなく全職員に情報共有しているのか。  
**答** 各職場の管理職を中心に、朝の打ち合わせ等で情報共有に努め、また庁議を通じて各管理者から職場に情報を提供している。

**問** 毎年190万円以上かけて接遇などの市独自研修を実施しているが、効果を検証しているのか。  
**答** 研修参加者は、必ず復命書で所属長を通じて職員課に報告する。  
**要望** 研修を形骸化させないでほしい。また小さなクレーム等も情報共有し改善のヒントにすべき。  
**問** ふるさと納税について、当市でも使途を明確にした基金を立ち上げる予定はあるか。  
**答** 農地確保のための基金創設の一つとして、ふるさと納税をPRし、寄附を募る方法も検討したい。  
**問** 寄附者や寄附の使途をホームページ等で告知してほしい。また、ちょこバス基金を創設し、利便性を高めるはどうか。  
**答** ふるさと納税に対応した基金を新設するか、既存の基金の中で対応項目を増やすかも含め検討していきたい。

### 東日本大震災の被災者支援について聞く

森田 真一  
(日本共産党)

**問** 震災当日の帰宅困難者への対応は。

**答** 東大和市駅、玉川上水駅で滞留した約200人を市民体育館等へ誘導した。

**問** 震災後の福祉車両のガソリンや緊急用発電機の確保はどうだったのか。また、今後の地域防災計画見直しの際に何らかの検討はできないか。



やまとふれあい交換便

**答** 庁用車や消防車両の燃料の確保にも苦労した。緊急用発電機は福祉用に1台確保した。ガソリン供給に関しては、国・都の備蓄分の開放を要求するしかない。

**問** 被災地からの避難者の医療費の免除は災害救助法や国保法の減免規定が適用されるが、健康診断の受診費用についてはどうか。厚労省も受診機会の確保を求めている。今後行政から避難者に働きかけるべきだ。

**答** 避難元からの通知等を掲載した「やまとふれあい交換便」を随時配布し、情報提供に努めたい。

**問** 避難元と東京の気候の差は大きい。避難者の猛暑対策が必要だ。

**答** 東京都の制度も活用しながら対応したい。

### 身近な選挙で投票率の向上を地域の意見を反映した河川づくりを

関野 杜成  
(無所属)



清水富士見緑地

**問** 選挙の投票率について、どう考えているか。今後の考え方は。

**答** 当市は、都全体の平均に比べ高い状態ではあるが、課題として若年層の投票率が低い。今後も創意工夫が必要と考えている。

**問** 期日前投票所を、駅前やスーパーなどが集まる場所に設置すれば、投票率が上がるのではないかと。近隣の事例はどうか。

**答** 駅構内や駅前にはパーテーションやプレハブを仮設し、期日前投票所としている例がある。期日前投票の意味は理解するが、候補者の政策的訴えを聞き、投票してほしいという思いもある。

**要望** 期日前投票に行き、選挙を身近に感じてもらいたい。そうすれば、選挙への興味湧き投票日に行く動機づけになると思う。

**問** 今後の市内の河川環境をどのように考えるか。

**答** 都と連携し、緑化と環境に配慮した整備を進めていきたい。

**問** 空堀川整備について、設計変更がまだできる段階で説明会を開催し、地域の意見を聞いてほしい。

**答** 地域の方の御意見は東京都にも聞いてもらえるよう努力したい。

### 消防団員の処遇改善と災害時の指揮系統の整理を

中村 庄一郎  
(自由民主党)



第六分団詰所

**問** 消防団員は市民の生命、財産を守る崇高な活動であり、それなりの待遇が必要である。他市との報酬の比較と待遇改善の考えは。

**答** 現在の報酬等は平成8年に改定され三多摩26市中下位にあたる。調査、検討の時間をいただきたい。

**問** 消防団詰所の耐震化と、建て替え等の年度を前倒してできないか。

**答** 第2、第6分団の耐震診断

が未実施である。平成24・25年度で建て替えを予定している。前倒しについては、どこまでできるか実施計画の中で検討したい。

**問** 多摩国体の計画と進捗状況は。現在、大会の運営に向け、実行委員会の設立準備をしている。当市では初めての国体会場となることから、プレイベントの検討や啓発活動に努めてまいりたい。

**問** 当市の危機管理体制の対策と今後の課題について伺う。

**答** 地域防災計画の中で、災害対応策と復興対策を示している。今回の大震災を教訓に、緊急時に対応した組織編成と優先業務等を定め、日ごろから関係機関との定期的な訓練を実施していくことが重要であり、課題と考えている。

## 委員会での議論

### 総務

所得税法第56条廃止の意見書提出を求める請願は、継続審査となりました。

### 厚生文教

地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情は、採択しました。

#### (主な質疑)

**問** 国による実効的な財政措置、具体的な制度設計提示の必要性が上げられているが、当市の中で課題があるのかどうか伺う。

**答** 地方消費者行政活性化交付金、住民生活に光をそそぐ交付金と活用を図っているが、3年間の期間限定なので、今後の安定的な財政支援が見通せない。また、他市では単独で11市ほどセンターを持っているが、当市では消費生活相談を窓口として掲げている状況である。制度設計上支援があれば市民のためにプラスになると考える。

**問** 今まで都道府県単位の消費センターが大きな役割を担ってきたと思うが、国の3年間の交付金事業で、市にきめ細かな対応が求められるという認識で良いか。

**答** 現在新宿に消費生活総合センターがあるが、市民がより身近な場所での相談ができ、消費者保護に資するようこの交付金である。

**問** 消費生活相談員の研修については市の補助になっているのか。

**答** 嘱託員の相談員については、市のほうですべて負担をしている。

### 建設環境

ちよこバス路線復活に関する陳情2件は、趣旨採択しました。

#### (主な質疑)

**問** 今議会において、次の運行形態に向け、地域公共交通会議の設置に向けた準備を進めているとの答弁があったが、現状を伺う。

**答** 市民の方々の御意見を踏まえ最終的には地域公共交通会議の設置を視野に入れ、あり方等いろいろな検討に着手すべくスケジュールを煮詰めている段階である。

**問** 地域公共交通会議の設置は、具体的にいつごろから始めるのか。

**答** 検討に着手する中で準備を進めている。平成25年度以降に現行の車両3台を買い換えなければならぬが、当然予算も必要とされる。最初に総合的なスケジュールを組み、設置スタートを考える。

**問** 住民に対する説明が不十分であったとの経緯があるが、今までの違う方法を考えているか。

**答** 前回は、地域公共交通会議の中間報告を市報、ホームページに掲載、各施設で閲覧を行い、御意見をいただき、その御意見を踏まえた中で検討し、最終報告後に新ルート説明会を行った。今後は御意

可決しました。

**市道路線の認定、変更、一部廃止、廃止の4議案は、原案どおり**

**問** 御要望にもある車両台数の増は、運行便数の増につながる部分もある。単純に車両台数をかやすのは財政上結ぶつかないが、買いかえを順次する中で、新たなものを先行して買うことにより車両をふやせたらと考えている。車種や燃料等いろいろな角度から検討に入るので、25年度以降の車両の買いかえを視野に入れたいと、新たな運行形態の考えはまとまらない。

**問** 高齢者の足の確保等、福祉的な問題に関する市の考えは。

**答** コミュニティバス運行事業は、公共交通空白地域の解消が大きな前提となっている。検討に入るには状況の変化、地域的、年齢的によって福祉的な部分をどのように対応していくかが課題となり、関係部署と連携し調整していく。

### 閉会中に行われた会議

- <4月>
  - 13日 ○議会広報委員会
- <5月>
  - 16日 ○代表者会議
- <6月>
  - 6日 ○代表者会議
  - 10日 ○議会運営委員会

### 議長・議員が出席した会合

- <4月>
  - 11日 ○東京都市議会議長会臨時総会
- <5月>
  - 27日 ○東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会
  - 30日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会
  - 三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会
  - 31日 ○東京都市議会議長会理事会
  - 東京都市議会議長会総会
  - 小平・村山・大和衛生組合議会5月臨時会
- <6月>
  - 2日 ○第77回関東市議会議長会定期総会
  - 15日 ○第87回全国市議会議長会定期総会

**表紙写真募集中です**  
 東大和市議会だよりの表紙を飾る写真を募集しています。応募のお問い合わせは、議会事務局までお願いします。

**「クールビズ」を実施!**  
 市議会では節電対策、地球温暖化防止対策として、議会議場を含め室内温度を29℃に設定し、照明についても議会運営に支障のない限り消灯することとしています。服装も暑さ対策のために、クールビズ対応(ノーネクタイ、ノー上着など)を本年10月31日まで実施します。

### 9月定例会の予定

通常、開会時間は午前9時30分です。

月日	会議	内容
9月6日(火)	本会議	議案の審議など
7日(水)	本会議	一般質問
8日(木)		
9日(金)		
12日(月)		
13日(火)	常任委員会 ☆特別委員会	付託案件の審査
14日(水)		
15日(木)		
16日(金)	決算特別委員会	平成22年度決算審査
20日(火)		
21日(水)	本会議	委員会審査報告など
26日(月)		

☆特別委員会…議会のあり方に関する調査特別委員会  
 ※日程は変更する場合がありますのでご了承ください。  
 確定次第、東大和市ホームページに掲載いたします。  
 問い合わせ先 議会事務局  
 電話042-563-2111 内線2002

### 6月議会での議案等の結果

件名	会派名						結果
	自	公	共	民	や	無	
議会人事案件 1件							
東大和市農業委員会委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	推
市長提出案件 15件							
東大和市土地開発公社の経営状況について							報
平成22年度東大和市一般会計繰越明許費繰越計算書について							報
東大和市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	同
専決処分の承認について(平成23年度東大和市一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	承
専決処分の承認について(平成23年度東大和市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	承
東大和市長の給与の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	可
東大和市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可
平成23年度東大和市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可
市道路線の認定について(市道第998-999-1000号線)	○	○	○	○	○	○	可
市道路線の変更について(市道第912号線)	○	○	○	○	○	○	可
市道路線の一部廃止について(市道第358-360-1232号線)	○	○	○	○	○	○	可
市道路線の廃止について(市道第1001号線)	○	○	○	○	○	○	可
東大和市立第七小学校校舎耐震補強工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	可
東大和市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可
平成23年度東大和市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可
委員会提出案件 1件							
地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可
議員提出案件 2件							
議会のあり方に関する調査特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	可
米国の核兵器維持の新実験に抗議する決議	○	○	○	○	○	○	可
請願・陳情 4件							
所得税法第56条廃止の意見書提出を求める請願	-	-	-	-	-	-	継
地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情	○	○	○	○	○	○	採
ちよこバス路線復活に関する陳情	○	○	○	○	○	○	趣
ちよこバス路線復活に関する陳情	○	○	○	○	○	○	趣

### 5月臨時会での議案の結果

件名	会派名						結果
	自	公	共	民	や	無	
議会人事案件 9件							
東大和市議会議長選挙							選挙
東大和市議会副議長選挙							選挙
昭和病院組合議会議員選挙							選挙
湖南衛生組合議会議員選挙							選挙
小平・村山・大和衛生組合議会議員選挙							選挙
東京たま広域資源循環組合議会議員選挙							選挙
東大和市議会常任委員会委員選任							選任
東大和市議会議会運営委員会委員選任							選任
東大和市議会広報委員会委員選任							選任
市長提出案件 4件							
専決処分の報告について(庁用自動車の物損事故による損害賠償)							報
東大和市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	同
専決処分の承認について(平成23年度東大和市一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	承
専決処分の承認について(東大和市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承

会派略称：自…自由民主党 公…公明党 共…日本共産党 民…民主党 や…やまとみどり 無…無所属  
 結果：可…原案可決 否…否決 決…決定 承…承認 同…同意 認…認定 採…採択 趣…趣旨採択  
 不…不採択 継…継続審査 適…適任 推…推薦 報…報告  
 賛 否：○賛成 ×反対

9月議会は6日に開会予定 次号の市議会だよりは11月1日発行予定